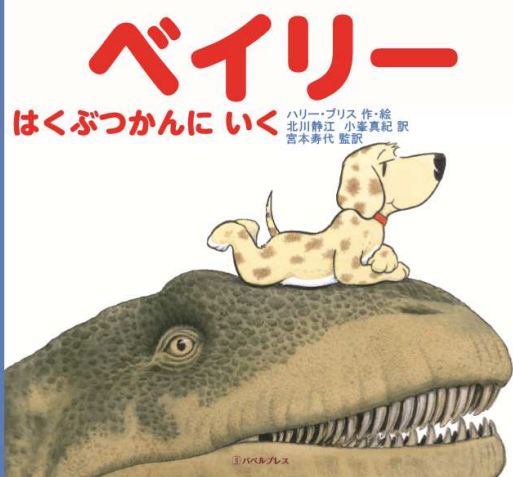


『ベイリー はくぶつかんにいく』

ベイリーは、くすくす笑わせる

ユーモアと愛くるしい魅力をもつキャラクターです。

こんな可愛くて面白いベイリーとなら博物館での遠足も何倍も楽しめそう❖



ベイリーは、とっても好奇心旺盛な犬。

学校の遠足で行った博物館では、骨だけではなくテント小屋、トーテンポールそして恐竜の骨格といった興味深いものが沢山あって大興奮。

そんなベイリーを心配な博物館のガードマンが、閲覧中のベイリーの特別なパートナーとなるのですが…？！

いたずらだけど憎めないキャラクターのベイリーが人を惹き込ませ、自然に笑顔になれる心温まる絵本です。

ジャンル：絵本

発行：2016年7月27日予定

原書：BAILEY at the museum

タイトル：ベイリー はくぶつかんにいく

定価：1,500 円+税

著者：ハリー・ブリス（作・絵）

訳者：北川静江、小峯真紀

監訳：宮本寿代

出版社：バベルプレス

判型：25.3cm × 27.8cm（上製）

頁：32ページ

I S B N : 978-4-89449-162-5



【著者】ハリー・ブリス（Harry Bliss）

ベイリーの作者。「スクール・ライブラリー・ジャーナル」誌のレビューで「これこそがブリス」と評された本作品のほか、アリソン・マクビー著、Countdown to Kindergartenシャロン・クリーチ 著、A Fine, Fine School [邦訳『みんなの好きな学校』（長田弘訳、講談社、2003年）] ウィリアム・スタイク著、Which Would You Rather Be?ドリーン・クローニン著、Diary of a Worm [邦訳『ミミズくんのにつき』（もりうちすみこ訳、朔北社、2005年）]、Diary of a Fly, Diary of a Spider [邦訳『くもくんのにつき』（もりうちすみこ訳、朔北社、2010年）]（いずれも「ニューヨーク・タイムズ」紙のベストセラー入り）など、多くの子ども向けの作品でイラストを手がけている。また、「ザ・ニュー Yorker」誌の漫画家および表紙画家としても受賞歴がある。バーモント州のサウスバーリントンに家族とともに暮らしている。

以上、ご高評くださいますよう、お願い申し上げます。

【本件に関する問い合わせはこちら】

〒180-0003東京都武蔵野市吉祥寺南町2-13-18

TEL: 0422-24-8935 FAX: 0422-24-8932 email: press@babel.co.jp

担当：藪下数馬 バベルプレス（株式会社バベル）HP: <http://www.babelpress.co.jp/>